

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2004-256395(P2004-256395A)

【公開日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2004-036

【出願番号】特願2003-45510(P2003-45510)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 38/16

A 2 3 L 1/305

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 43/00

【F I】

A 6 1 K 37/14

A 2 3 L 1/305

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 43/00 105

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月10日(2004.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ラクトフェリンを有効成分として含有することを特徴とする白血球遊走能調節剤。

【請求項2】

白血球が、インフルエンザウイルス感染呼吸器に遊走される白血球である請求項1に記載の白血球遊走能調節剤。

【請求項3】

組織傷害、気管支炎、中耳炎、肺炎の予防及び/又は治療に効果を有する請求項1又は請求項2に記載の白血球遊走能調節剤。

【請求項4】

ラクトフェリンを有効成分として含有する白血球遊走能調節剤を配合した飲食品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決する本発明の態様は、ラクトフェリンを有効成分として含有することを特徴とする白血球遊走能調節剤であって、該白血球がインフルエンザウイルス感染呼吸器

に遊走される白血球であること、並びに組織傷害、気管支炎、中耳炎、肺炎の予防及び／又は治療に効果を有すること、を望ましい態様としている。また、前記課題を解決する本発明の他の態様は、ラクトフェリンを有効成分として含有する白血球遊走能調節剤を配合した飲食品である。